



2021年度業務計画(案)

電磁界情報センター

2021年度業務計画の考え方(1/3)

<2021年度の活動>

これまで築き上げてきた、信頼できる「第三者機関」に求められる高度な専門性の蓄積と情報収集、情報提供を継続するとともに、新たな手段等を活用し、情報提供活動を充実させる。

- 国際的機関との連携および重要情報に関する詳細調査(文献・訪問など)を充実し専門性を高めるとともに、新たな電磁波発生源の測定調査を行う。
- 従来の現地開催型の対応(講師派遣またはセミナー開催)による情報提供手段に加え、オンライン形式の「WEBセミナー」の開催、講演動画の配信等により、情報提供活動を充実させ継続する。
- 妊婦を対象とした対象層特化活動を継続するとともに、ホームページを活用した効果的・効率的な情報提供を図る。

に重点を置く。

2021年度業務計画の考え方(2/3)

<2021年度業務計画の具体的力点>

1. 情報調査業務

- 国際的機関との連携により最新論文収集とデータの着実な蓄積に努める。
- 問合せ対応内容等を踏まえ、これまでにJEICで測定を実施していない電磁波発生源として、充電式家電製品やスマートメーターから発生する電磁界について測定を実施する。

2. 情報提供・管理業務

- 従来の行政や諸団体等からの講師派遣依頼の対応に加え、オンライン形式の「WEBセミナー」(個人向け・団体向け)を新たに開催し、より多くの方への情報提供・知識啓発を図る。
- 情報提供の場(学校保健・衛生関係関連学会等)の拡大および、講演動画の配信により、情報の媒介者を対象とした情報提供活動を継続して実施する。

2021年度業務計画の考え方(3/3)

2. 情報提供・管理業務（続き）

- 母子衛生研究会との連携により、市町村の母子保健関係者セミナーおよび母子健康手帳配布に併せた電磁波に関する教材配布事業について、より多くの妊婦に情報が届くよう同会との効果的な連携を検討しながら継続する。
- ホームページを活用した効果的・効率的な情報提供を図る（WEBセミナーの参加者募集、講演動画の配信、情報の最適化等）。
- 最新情報の提供（ホームページ、ニュースレター、メールマガジン等）や、各種セミナー等の場を活用し、賛助会員（会費）の維持を図る。